

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合中】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	＜学習上の課題＞ ・学力の基礎となる知識・技能の定着において、生徒によって定着度の偏りがみられる。 ・自主的に学ぶ習慣を身につけている生徒が少ない。 ＜指導上の課題＞ ・学習を振り返る時間を確保する必要がある。 ・生徒が主体的に学習に向かう姿勢を育成する必要がある。	⇒ ・「スタディサプリ」「ドリルパーク」などのICT学習ツールを積極的に活用、推奨し、漢字や基本的な計算などの知識・技能を学習者自身のレベルに合わせて取り組む【単元毎の実施】。 ・定期的に課題を出し、生徒の学習習慣の定着を図る【単元毎の実施】。 ・スクールダッシュボードの「授業の振り返り」を活用し、生徒は自身で学びの自己調整、教師は授業改善を図る【通年】。
思考・判断・表現	＜学習上の課題＞ ・得た知識を自身で理解し、言語化することについて課題がみられる。 ・思考力を中心とする応用問題に苦手意識をもっている。 ＜指導上の課題＞ ・基礎的な知識・技能を定着する授業展開が中心となっており、思考力や表現力を育成する活動や時間をより増やす必要がある。	⇒ ・深い学びの実現に向け、「まとめ・表現」に重きをおき、身につけた知識や技能を基に、思考したり表現したりする活動を設定する【毎回実施】。 ・「問題発見・解決能力」「情報活用能力」の育成を2つを柱とし、生徒の資質・能力の向上を目指す。これを達成するために、思考力や表現力、探究心を養う授業展開、授業改善を行う。また、校内のデジタル基盤を整備し、生徒の学習機会においてICTを積極的に活用し、個別最適な学びの実現を目指す。【通年】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	理科は、総合尺度で全国を明確に上回る位置にあり、基礎用語や基本法則の計量的理解が十分である。また数学も全国平均を上回るが、基礎的・基本的な知識及び技能の定着は生徒によって差がある。国語はほぼ全国平均であるが、知識を適切に活用する場面では課題がある。 基礎的・基本的な知識及び技能の定着については、教科によってばらつきがみられる。国語においては「言葉の特徴や使い方」、数学においては「図形」や「関数」などの基本的な概念の理解に課題があると考えられる。一方で、数学の「数と式」などでは、全国平均を上回っており、日常的な学習活動の中で培われた力が発揮されていると考える。
思考・判断・表現	国語の「読むこと」は全国平均を上回っており、文章の構造や筆者の意図を読み取る力にみについていることがわかる。理科も総合的に良好で、観察・実験に基づく因果的説明を明確化できるとさらに学力の向上が見込める。数学は全国を上回るが、解法選択の理由付けに伴いしるがある。 国語の「話す・聞くこと」、「書くこと」で全国超えの一方、複数資料の統合や根拠明示を要する読解、自身の考えを表現したり他者から聞いた内容を言語化したりすることが今後の課題となる。数学においては、「関数」や「データの活用」で問題解決の過程を論理的に説明する力の育成が求められる。

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	学習者の基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、ICT学習ツールを積極的に活用している。また学習者に学びを振り返らせることで、学習者は自身の学びの自己調整を図ることができている。その一方、授業内で出された宿題などの取組状況には引き続き課題があり、学習者の主体的に学習に向かう姿勢の育成は引き続き継続していく必要がある。	変更なし
思考・判断・表現	B	各授業において学習者が身につけた知識や技能を基に、思考・表現する場面を多く設定することができた。課題設定する時間も設定したことで「問題発見・解決能力」も育成できている。また生徒の学習機会において、生成AIの活用やICT学習ソフトを積極的に活用し、「情報活用能力」の育成できている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)